

リーフレット配布における懸念点

今回、リーフレットを配布していただくにあたり、以下の2点を何よりも心配しています。

- ・ 間違った認識が広がらないか
- ・ ヤングケアラーの状況にある子どもたちにとって傷付きの機会になってしまわないか

間違った認識や傷付きの例

「家族のために頑張ってきた私は
なんだったんだろう・・・」

「家族のケアをするのは
いけないことなんだ。
お手伝いをすると
ヤングケアラーになるんだ。」

「リーフレットを配られてから、
からかわれるようになった。」

「自分の家はみんなと
違ったんだ・・・」



「家族のことだから、
先生や友だちに
知られたくないんだけどな・・・」

「大ごとになるのは
いやだな。
普通に過ごしたいのに・・・」

このような間違った認識が広がってしまったり、傷付きの機会になったりしてしまわないよう、細心の注意を払ってリーフレットを作成しておりますが、**リーフレットの配布・調査の実施の際には、こまやかな配慮や工夫をどうかよろしくお願いいたします。**

もし、「このような状況ではどうしたらいいか」「どんなふうに話をしたらいいのか」といったご心配やご不安があれば、是非ヤングケアラー支援室にご相談ください。一緒に考えさせていただきます。

また、リーフレットの配布・調査の実施の影響で事後のケアが必要な状況が起こってしまうことも考えられます。そのような場合も、是非ヤングケアラー支援室にご相談ください。